



同友会の活動
はこちらの
QRコードか
らご覧いた
だけます。▶



9

2019年
月号

発行/群馬中小企業家同友会 〒371-0013 前橋市西片貝町1-300-5 ルアン第二ビル4F TEL 027-232-0001 FAX 027-232-0666 E-mail g-douyu@po.wind.ne.jp



八月七日、障害者雇用委員
会設営の「第五回障害者雇用
フォーラム」(群馬県後援)が
開催され、会員はもとより、行
政・学校・
支援機関な
ど、会の内
外から総勢
五四名が参
加しまし
た。

害について、解説を含めた講
演をお願いしました。

では、物事の捉え方、考え方が
まるで違うと思った」「障害者
が働きやすい職場は、みんなが
働きやすい環境であると実感し
た」などの感想が聞かれました。

違いを理解し認め合い、 活かせる会社づくりを！

— 第5回障害者雇用フォーラム開催 —



今回は、
発達障害を
描いた映
画『秋桜の
咲く日』を
鑑賞。そし
てゲストと
してNPO
リンケージ
の石川京子
理事長を迎
え、映画鑑
賞の前後で
「見どころ」
と「発達障

この映画は、特別養護老人
ホームを舞台に、新しく入った
発達障害のある介護士と先輩ス
タッフの日常が描かれており、
目に見えにくい違い(障害)の
ある人の生きづらさや痛みを伝
えるとともに、「違い」が生み
出すプラスのエネルギーを感じ
られる作品でした。

上映後、石川氏は映画の場面
を一つひとつ取り上げながら、
わかりやすく解説。

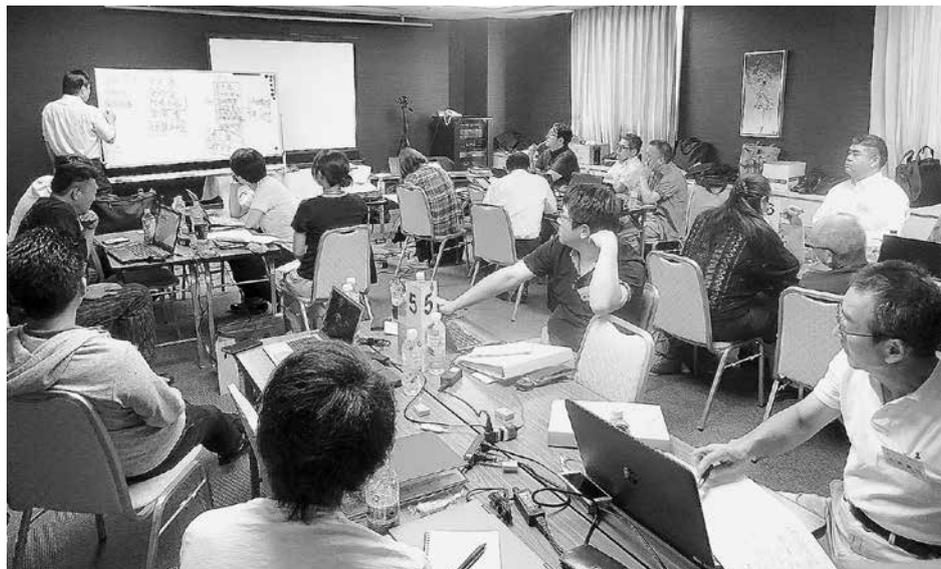
「落ち着きがない」「片づけが
苦手」「空気が読めない」「ミス
が多い」といった、会社にもい
そうな社員への理解を深める機
会ともなりました。

参加者からは「折り紙を使っ
て実際に違いを体験したこと
で、こういうことかと気づかさ
れ、反省しました」「障害につ
いて知っているのといわないのと

※「違い」を認めないこと
によって、差別は始まります。人
はそれぞれ違うものですが、違
うというだけでその人を排除し
てしまう傾向が人間にはありま
す。家族も含めて周りの人たち
の正しい理解が必要です。

継続は力！参加するたびに会社が強くなる

第24期経営指針をつくる会・第1講



経営指針部会主催による第
二十四期「経営指針をつくる
会」(一泊二日全六講)が今年
度もスタート。企業の道しるべ

となる経営指針を成文化し、厳
しい経営環境を乗り越えるた
め、四〇社より四十四名が参加
しました。ここ数年、定員を越

行いました。

戸塚部会長の開会挨拶・趣旨
説明から始まった一日目は、経
営指針作成の基礎として、(株)
多利合同事務所・山口氏が「経
営指針作成の意義と全体像」を

あるのは、
参加企業の業
績好調が会員
に広く伝わっ
てきているか
らと推測され
ます。
第一講は八
月二日(金)
三日(土)
の二日間、
ニューサン
ピアを会場
に「経営理念
の作成と深堀
り」をテーマ
に開催。企業
の根幹をなす
経営理念の成
文化や練り直
しを中心に、
講義や実習を

える参加申込
があるのは、
参加企業の業
績好調が会員
に広く伝わっ
てきているか
らと推測され
ます。
第一講は八
月二日(金)
三日(土)
の二日間、
ニューサン
ピアを会場
に「経営理念
の作成と深堀
り」をテーマ
に開催。企業
の根幹をなす
経営理念の成
文化や練り直
しを中心に、
講義や実習を



を中心にして経営理念を検討するA
コースと、昨年からの連続参加に
なるメンバーを中心に財務分析
を行うBコースに分かれて進
行。Aコースは「経営理念検討
シート」の記入とグループ討論
を交互に行い、メンバーからの
アドバイスを受けながら、創業
者の想いや自社の使命を経営理
念に重ねていきました。一方、
Bコースは「企業変革支援プロ
グラム」に基づいて経営課題を
抽出した後、同業者比較などに
より財務の面から課題整理をし
ていきました。

次回、第二講は「経営理念の
まとめと自社分析」をテーマに
行われます。半年後には参加者
の想いが詰まった経営指針が完
成することでしょう！

会計ソフトを「未来を見る経営羅針盤」へ進化させる!!
クラウド型予算実績管理ツール

YOJITSU[®]
https://yojitsu.net/

同友会高崎支部会員

株式会社 **シスプラ** 0120-638-377
群馬県高崎市問屋町 3-10-3 問屋町センター第2ビル
TEL.027-363-8377 FAX.027-363-8313
http://www.syspla.co.jp/

部品加工の 株式会社 **マテハン**

同友会の製造業と連携して
北関東機械加工センターを目指します。

ホームページで仕事の受注が came ました。
好評「部品加工のマテハン」

従業員数 12名
代表取締役 島山 淳
群馬県太田市矢田堀町351-6
TEL 0276(37)4571
FAX 0276(37)4562

URL:http://www.kk-matehan.co.jp/
E-mail:mth@kk-matehan.co.jp

イマドキの若者の傾向と対策

伊勢崎支部7月例会



七月十六日(火)、プラザ・アリアを会場に「伊勢崎支部七月例会(共同求人部会後援)」を開催。人材育成・採用支援コンサルティングの榎ラーニングエンタテイメント、代表取締役・阿部淳一郎氏(東京同友会)が報告者を務め、「イマドキの若者の傾向と対策」だから採用と教育がうまくいかない」とをテーマに問題提起しました。

通常の例会プログラムとは異なり、報告の合間に適宜グループ討論を入れるスタイルで進化した阿部氏。「イマドキの若者

の印象は？」をテーマに意見交換した後、各グループから出された意見に対して「ネガティブな印象が数多く挙がったが、そうした若者を戦力化するのが人材育成。それは上司の職責であり会社の責任」と参加者に投げ掛けました。

近年の新卒採用戦線については「名だたる大企業さえも大苦戦しており、合同企業説明会では、あの手この手で学生をブラスに座らせようと必死」との実態を紹介。合わせて「有給休暇の取得率や残業時間の少なさ、

福利厚生の実態などは絶対に外せない条件。仕事よりプライベートを優先したいと考える傾向が顕著」と、若者が企業を選ぶポイントを紹介しました。

続いて「イマドキの若者をどう育成すれば良いか？」の意見交換では、多くの参加企業で決め手となる育成方法が見い出せていない現状を共有。それを受けて阿部氏は「しっかりと向き合って話しを聴く1on1ミーティング」社員の成熟度によって対応を変えるSL理論「小さな目標を達成させながら最終目標に近づくスマールステップ法」など、現在注目されている人材育成の手法を丁寧に説明し、「イマドキの若者は...と嘆くのではなく、チーム・組織で人材育成していくことが何よりも重要」と訴えました。

参加者アンケートには「分かっていないつもりでいたが、データで示される若者の実態に衝撃を受けた」「いつの時代もイマドキの若者」という言葉で括られるが、本質は相手と真剣に向き合い、理解すること」「若者を迎え入れる仕組みや風土づくり。企業努力・企業改革が必要と痛感した」などの感想が綴られていました。

ダイバーシティ経営で驚異のV字回復

高崎支部7月例会

七月十九日(金)、ピエントを会場に「高崎支部七月例会」を開催。精密プレス加工・タック加工・プレス金型製作などを手掛ける(有)川田製作所、取締役副社長・川田俊介氏(神奈川同友会)が報告者を務め、「『苦手』を理解し『得意』を伸ばすダイバーシティ経営で驚異のV字回復」をテーマに自身の経営体験を語りました。

高齢者・障害者・外国人・女性など、様々な人材が活躍するダイバーシティ経営を実践している同社。社員一人一人の苦手を理解し得意を伸ばす工夫やアイデア、仕組みなどの具体例を丁寧に紹介しました。最後にダイバーシティ経営が生み出すものとして「多様な人材が働く会社には良い意味での摩擦が生まれる。摩擦によって互いの理解



が進み、働きやすい職場や組織風土がつくられていく」と語りました。

報告終了後は「理解する」をテーマにグループ討論を実施。「一人一人を良く見る、そして傾聴する」「無理に自分の型に嵌めず、柔軟なものの方や捉え方が大事」「まずは相手を承認する。人間の可能性は無限大である」など、活発な意見が交わされました。

良い会社になる為に

太田支部7月例会



七月二十五日(木)、蕪川行政センターを会場に太田支部七月例会を開催。「良い会社になる為の宝探し」社員さん・お客様から選ばれ続ける企業になるために」とのテーマでパネルディスカッション形式で進行了ました。

パネラーを務めたのは、電装品配線・組立、ワイヤーハーネス加工などを行う(株)遠藤製作所・遠藤裕之氏、住宅型有料老人ホーム、居宅介護支援事業所

などを運営する(株)グレイス・細田礼子氏、経営計画策定・運用支援、税務会計業務などを行う権田会計事務所・権田俊枝氏(いずれも太田支部所属)の三名。業種や立場の違う三名に(有)橋田機設・橋田康宏氏、(株)マテハン・島山淳氏の二名がテーマに沿った質問を投げかけ、それぞれの経営実践に基づく回答を語ってもらいました。

「良い会社にするために大切なのは、経営者が勉強する事。」

企業は経営者の器以上には成長しない。(遠藤)「『良い会社』という言葉に違和感がある。社長と社員の思う良い会社にはギャップがある。経営者目線ではなく、社員や外部から見た良い会社を目指したい。(細田)」「仕事柄、経営者と言われる立場の方と対峙する機会が多いので、同じ目線で話をするために、自分の引き出しを増やす努力をしている。(権田)」など、紙面では紹介しきれない三者三様の回答から、経営のヒントとなる宝探しが出来ました。

橋田氏は「良い会社になる方法は一つではない。パネラー三名の取組事例はもちろん、グループ討論からもヒントを見つけ、持ち帰って実践し、結果に繋げて欲しい」と学びのサイクルを再確認して、グループ討論へと移行しました。

参加者アンケートには「創業の情熱。社員が笑顔になるための創意工夫。器を広げる努力。それぞれの話に経営のヒントが満載だった」「作り込まれた例会。参加者の学びの為にしっかりと準備されていることが伝わってきた」といった感想が数多く寄せられました。

恒例！社員とともてむびあひあひ

渋川吾妻支部7月例会



「組織とは一つの目的を全員で達成する集団であり、一人では出来ないことを行う集団。その共通の目的こそが経営理念。目的に生きると人生が変わり、仕事にやりがいも見出せます」と語りかけました。

討論の中では「相手は否定しない」「まずは傾聴」「不満を解消すること」「お客さんのありがとうをみんなに伝える」など、前向きな意見が飛び交っていました。

渋川吾妻支部七月例会は、毎年恒例の「社員とともに学び合う例会」が開催されました。

今回は、(株)コモチの島田工場長と同社の齋藤専務からの問題提起を受けて大いに語り合いました。

先に島田氏が「工場長の苦悩と未来への思い」と題して報告。入社四年目に工場長に抜擢されるも、当初は職人堅気な罵倒に近い指導だったが、仕事を覚えてもらうにはどうすればよいか思い悩んだ末、ティーチングから相手の自発性を引き出すコーチングへと指導方法を改革した経験などを語りました。

続いて齋藤専務が「家族経営から組織経営への変革」と題して報告。「他人と過去は変えられない。変えられるのは自分と未来だけ！」と、選択理論心理学をはじめ、様々な学びの場へ積極的に参加し、まずは自己変革に取り組んだ齋藤氏。すると社員も自主的に行動するようになり変わっていったといいます。

なぜ若者はこころ来なのかな？

桐生支部7月例会

七月十七日(水)、桐生市市民文化会館を会場に「桐生支部7月例会」を開催。搬送用ベルトの特殊加工などを手掛けるマルシン産業(株)、代表取締役・提箸康裕氏(副代表理事/共同求人部会長)が報告者を務め、「なぜ若者はうちに来ないのか?」学生と仕事・地域社会をつなぐ大切さ」をテーマに、自身の経営体験と共同求人活動について語りました。

提箸氏は「社長になって、同友会に入会して早十六年。同友会が目指す企業づくりが果たしてできているのか?」という自



問自答から報告をはじめ、その答えとして「様々な活動を通して一通りは学んできたつもりだが、つまみ食いの学びの結果、脆弱な組織状態のままである」との深い反省を吐露。また、参加者に対しても「同友会の学び方、活用の仕方を本当に理解している会員はどれくらいいるのか?これからの時代、あらゆる面で「選ばれる会社」でなければ継続できない」と投げ掛けました。

そうした自身の、あるいは会員の現状を踏まえた上で共同求人活動の重要性を指摘。「若者が来てくれない、定着してくれない、育たない」のは、同友会で共同求人活動がスタートした約五〇年前から中小企業の大きな課題。経営指針・社員教育・共同求人者の三位一体が大切であり、特に共同求人は同友会活動の集大成とも言われている」と語りました。

最後に群馬同友会・共同求人部会の役割と現段階でのメイン活動について「経

営体質の強化・共育活動の充実の成果を示し、中小企業を持つ可能性を学校や父母、地域社会に伝えていくこと。良い会社(会員企業)の社会的認知を支援する活動を進めたい」と語り、それに対する協力を呼び掛けました。

プレゼンテーションセミナー

前橋支部7月例会

七月二十四日(水)、前橋市中央公民館を会場に前橋支部7月例会を開催。群馬県を中心に企業イベントでのパフォーマンスや学校での講演会、コミュニケーションセミナー講師など幅広く活動する、Arkグループ代表、マジシャンShun氏をお招きし「相手の心をつかむマジック心理学セミナー」と題して講演を依頼しました。



ただマジックを披露するだけでなく、企業に勤めていた前職の経験を踏まえての講演は、部下あるいは上司とのコミュニケーションにおいて、すぐにでも役立つ内容が盛りだくさん。また、随所にマジックを挟みながら、心理学を応用した言い回しやテクニクなどを間近に体験することができ、歓声と拍手

報告終了後は「良い会社(会員企業)の社会的認知」をテーマにグループ討論。他支部に先んじて「大問々高校インターンシップへの協力」を進める桐生支部として、さらに活動を発展させる方策や今後の展望などを深め合いました。

に包まれる例会となりました。参加者アンケートには「学んだというより反省の方が多かった。気遣い、気配りを意識していきたい」「マジックを通してビジネス心理学を楽しく学べた。すぐにでも実践したい」といった感想が記されていました。

アルミ精密部品の切削加工メーカー
株式会社 エーピーエム

充実した設備と長年培った確かな技術力で
お客様のご要望にお応えします!

〒373-0847 群馬県太田市西新町103-2
TEL0276-30-4058 FAX0276-30-4059
URL : <http://www.apm-f.com> E-mail : fuse@apm-f.com

アルマイト・メッキ(亜鉛、ニッケルetc)・真空蒸着
含浸処理・塗装(UV、粉体、溶剤、カチオン)・ショットブラスト

上毛電化 株式会社

ISO9001:2015認証取得 エコ・アクション21認証取得

〒375-0056 群馬県藤岡市三ツ木336-6
TEL : 0274-24-3228 FAX : 0274-24-4841
URL : <http://www.alumite.jp/> E-mail : joumou@vesta.ocn.ne.jp
関連会社(表面処理) ハイワテクノ株式会社 株式会社高橋塗装工業所

「一本の杖でありたい」

富岡安中支部7月例会



七月富岡安中支部例会は、社長就任一年、弱冠三十一歳の若きホープ、(有)ゆう優ハウス大和・丸山裕太社長の体験報告でした。会社の事業は、居宅介護支援・通所介護・訪問介護・有料老人ホームで、報告テーマである「一本の杖でありたい」は同社の企業理念です。

高校生だったある日、帰宅すると「きょうからここは事務所だから出て行け」と、サラリーマンだった父が突然の介護会社創業宣言。自分には合わない、高校卒業後はITの専門学校に進学し、関連の会社に就職。ところが二年後、自分の県外転勤

の噂を聞き、家族と一緒に生活することが信条だった丸山氏は思い悩みました。そんなとき、父親から「大丈夫だと思つて参加してみろ」と、あるセミナーへ。その時の講師の言葉「運命は自ら招き、境遇は自らつくる」に気づかされ、彼女(現在の奥様)にも背中を押されて翌日には退職願を提出し、大和へ入社しました。父親と一緒に仕事をはじめると、職場での父のカリスマ性や偉大さに驚きます。そして、自分の知識やセンスの薄さ、提案力や問題解決能力の低さなど、父と比較すればするほど、「これじゃだめだ」と自分を責め、葛藤する日々。そしてそれまで以上に社長塾・人生哲学・経営者の考え方・成功哲学・数字の見方・ランチェスター理論など実技以外の勉強に精を出しました。それから数年経った頃、元々のネガティブ思考がポジティブ思考に変化していったのです。「父との違いをありのまま

に受け入れられ、自分の長所も認めることができるようになり、自信が持てるようにもなりました」と丸山氏は当時を振り返ります。「私にとつて『一本の杖でありたい』とは、利用者様とご家族様、両方を支える杖。困ったときは頼りにされ、あるときは

共同求人活動とは?

沼田支部7月例会

七月二十三日(火)に開催された沼田支部例会は、三ヶ月連続で「人材」にフォーカスする企画の第一弾として、共同求人部会長のマルシン産業(株)、代表取締役・提箸康裕氏(副代表理事/富岡支部)が、「どんな人が必要ですか?」高収益企業を実現する人材を考える」とのテーマで、現在の共同求人部会の活動紹介と意義などを報告しました。

部会の名称から、採用直結型の活動を想像する会員もいる中で、「昔はそうだったかもしれないが、今は中小企業の持つ可能性を学校や父母に訴えていく。よい会社(会員企業)の社会的認知」を支援推進する活動」として、インターンシップ



参加者アンケートには「求人活動は会社経営の集大成」「選ばれる良い会社づくりには本気にならなければいけない」などの感想が記されていました。

30周年 **S/S 株式会社 エス・アイ・エス**

企業の様々な課題をコンピュータシステムで解決!
(自動化、効率化、見える化、高速化)

★システム化事例

生産管理、工程管理、ガントチャート工程管理、在庫管理、原価管理、調達管理、図面配布管理、計測器貸出管理、販売管理、工事書類一括作成、耳標管理、安否緊急通報、ルート配達管理、他

ソフトウェア、ハードウェア、ITサポート、ITコンサル、IT環境構築

お気軽にご相談ください。Tel: 0274-63-0466

〒370-2312 富岡市星田632-1 <http://www.sis-jpn.co.jp/>

限りある資源を、次世代へ

株式会社 エステイビー



Stability Topline Business Co.,Ltd.

産業廃棄物収集運搬
産業廃棄物リサイクルの提案
一般貨物自動車運送
塗装プラント清掃

〒379-2123

前橋市山王町1-19-14

TEL 027-212-3312

FAX 027-266-8288

<http://www.s-t-b.jp>

会員たんしん同友会のホームページで
会員検索できます。**【クワガタ、カブトムシ出荷】**

(有)月夜野きのご園

夏休みに合わせ、子どもに人気のクワガタやカブトムシを飼育、販売する県内業者の出荷作業がピークを迎えている。(有)月夜野きのご園(代表取締役・金子崇範氏/沼田支部所属)はシイタケ生産の菌床製造技術を生かし、昆虫や飼育用品をインターネットで販売する。金子崇範社長によると、カブトムシの王様と言われるヘラクレスオオカブトや、色鮮やかなニジイロクワガタが人気という。「家族連れからの注文が増えている」と話している。

[7/25付上毛]

【はばたく中小企業・小規模事業者300社】

群馬合金(株)

非鉄金属ダイカスト製造業を手掛ける群馬合金(株)(取締役会長・六本木恒宏氏/伊勢崎支部所属)はこのほど、「はばたく中小企業・小規模事業者300社」に選定された。高齢でも活躍し続けられる会社づくりや、業務見直しによる無駄の徹底排除など、生産性向上に向けた取り組みが評価された。

六本木社長は「従業員が当社にいて良かったと思ってもらえることが今後の目標。ものづくりの面白さに気づいてもらえるような取り組みをして、従業員や家族が安心できる会社を目指していきたい」と話している。

[7/25付ぐん経]

【人材育成の現場学ぶ】

しのめ信用金庫

地域人材の育成で協定を結ぶしのめ信用金庫(理事長・横山慶一氏/富岡安中支部所属)と群馬県職業能力開発促進センター(ポリテクセンター群馬)は29日、同センターで連携事業の一環として同信金職員向けの説明会を開いた。職員は取引先への情報提供に役立てようとセンターの役割を学んだ。

説明会は、協定締結後に初めて実施。法人営業部の11人が参加し、講義を見学したり、実習を体験したりした。センターの担当者からは取得できる技能や、訓練生の就職率、地元企業への就職実績などが紹介された。

[7/30付上毛]

【中小事業者経営支援で28人認定】

しのめ信用金庫

しのめ信用金庫(理事長・横山慶一氏/富岡安中支部所属)は6日、経営をサポートできる人材「エクセレントパートナー」を養成する認定研修会を高崎支店で開い

た。営業担当の職員28人が認定された。エクセレントパートナーは、中小事業者の経営支援をする県よろず支援拠点が昨年認定事業を始めた。既に県内4金融機関の114名が認定されている。

参加者はロールプレイング形式で面談スキルを習得。開業を希望する相談者役とアドバイザー役に分かれ、相談者の悩みに対する解決方法を提案した。

[8/7付上毛]

【ショールームを貸しスペースとして活用】

(株)正和

リフォーム・リノベーション事業などを手掛ける(株)正和(代表取締役・坂間正和氏/高崎支部所属)は、17年にオープンした本社併設のショールーム「ヒトハコ」の活用を進めている。地元の人からの認知向上や、地域活性化を促すことが狙い。地域の人に足を運んで貰おうとヒトハコを併設して2年ほどたったが、利用・見学を含めて予約制であったため、より気軽に来てもらいたい、地元の木を身近に感じてもらいたいとの思いから、自社企画のみちくさCafeを月に1回オープンすることとした。

みちくさCafeは通常1日1,500円で利用可能な「ヒトハコ」を500円で利用することができる企画。7月27日に開催された第1回のみちくさCafeではケータリングの飲食店が出店。飲食しながらショールームでカフェのように過ごすことができた。ヒトハコにはこれまでも多くの県内のハンドメイド作家の利用があったという。みちくさCafeは今後も、出店できるケータリング店などを募集していく。

[8/22付ぐん経]

【紙おしぼりサーバーの開発着手】

(有)山崎製作所

精密板金やレーザー加工を手掛ける(有)山崎製作所(代表取締役・山崎将臣氏/高崎支部所属)はこのほど、ぐんま新技術・新製品開発推進補助金の採択を受け、「広告付き包装済み高級紙おしぼりの提供に寄与するインテリア家具風の紙おしぼりサーバーの開発」に取り組んでいる。同社では日本製の丈夫な不織布を使用したおしぼりを粗品として提案する「musubi」プロジェクトを手掛ける三企(東京都)の丸山社長から、「かっこいいおしぼりサーバーができないか」という相談を受け、18年10月から試作品の開発を始めた。

山崎社長は「サーバーはデザインを工夫し、おしぼり自体の価値を高めるものにし、利用者が楽しめる仕掛けも取り入れていきたい。今回の開発を通して、今後もさまざまな商品づくりに生かしていきたい」と話している。

[8/22付ぐん経]

第4回 理事会報告

日時 八月六日(火)

十八時三十分

会場 同友会事務所・会議室
出席者(順不同・敬称略)

正副代表理事/山岸、田村、提
著、島山、常任理事/吉池、町田、
布施、生沼、平岩、小林、海老沼、
花房、佐藤、理事/杉崎、佐藤、
阿久戸、篠原、関口、浅井、事
務局/黒岩、阿久澤、竹内(役
員計十九名)

【議事】

太田支部の篠原氏が議長をつ
とめ、田村代表理事挨拶のもと、
第四回理事会開会。

I. 報告・連絡事項

1. 各支部・部会・委員会等の
案内報告
各組織担当者より、案内や報
告がありました。
その中で共同求人部会から十
月三日に開催される「社会連携

シンポジウム」について、また
太田支部から十月十六日に研究
集会の前哨戦として開催する
一〇〇人例会への参加協力依頼
がありました。

2. その他

① 杉崎幹事より第一回全国幹事
会の報告がありました。
② 経営者夫人の会(仮称)発足に
向けたPR状況が報告されました。
II. 承認事項
1. 入退会者承認と支部別入会
者目標について
前回理事会以降の入会者三

名、退会者二名を承認。会員数
は五三七名となりました。

III. 審議事項

1. 意見交換
「役員研修会をの実のあるものと
するために」をテーマに、前向
きな意見交換が行われました。

IV. その他

1. 次回の理事会開催日程
第五回理事会を左記の通り開
催することが確認されました。
日時・九月三日(火)
会場・同友会事務所・会議室

新会員 ご紹介

8 月度常任理事会承認
会員名簿追加録(順不同・敬称略)

企業名・役職・氏名・生年・所在地・電話・FAX・業務内容・趣味・紹介者

高崎支部

SAWA農園(尙あさみ通商) 〒370-1103 佐波郡玉村町樋越227-4
TEL: 0270-50-0131
FAX: 0270-50-0130
野菜の生産・販売、運送、フード販売
体を動かすこと(ゴルフ・サッカーetc)
【紹介者/水野龍太】
当社は、ニラをメインに栽培・販売をしております。
1年中通して作っております。お客様の喜ぶニラを今
後も作って行きたいと思っております!今後とも皆様と共に
成長する会社にして行ければと思っておりますので、どうぞ
宜しくお願いします。



代表
松田裕子
S50年生

高崎支部

(株)Cheer up 〒370-0058 高崎市九蔵町25-1 westin I 201
TEL: 027-381-5315
FAX: 027-381-5316
福祉事業、(就労継続支援A型事業所)
スノーボード
【紹介者/渡辺真由美】
当社は高崎市指定障害福祉サービス事業所です。
精神、知的、身体障がいや難病をお持ちの方が生き
活きと働き、居場所になるような事業所を目指し日々
取り組んでおります。仕事を通して利用者様と共に成
長したいと思っております。会員の皆様から勉強させ
て頂きます。宜しくお願い致します。



代表取締役
野澤裕一
S49年生

伊勢崎支部

(有)ビクトリー 〒379-2221 伊勢崎市国定町1-1020
TEL: 0270-62-1735
FAX: 0270-61-9375
和牛繁殖
読書、マラソン
【紹介者/澤浦彰治】
皆さん、初めまして。当方は研究開発を生業にして
います。研究室でフラスコを振り…ではなく、日本が
誇る食材である「和牛」の「生産技術と経営」を日夜
研究し、和牛業界の更なる発展を牽引します。



代表取締役
根岸拓哉
S54年生

これからもお客様の信頼を糧に

私たちはできること。
それは
未来の地球のために、
そしてお客様にも、
やさしい企業であること。

「水なし印刷」をお薦めします

「水なし印刷」は、有害な廃液を含む湿し水を一切使用せず
現像工程の現像液使用量・廃液量も大幅減、またCO₂排出量も削減します。
環境への負荷が格段に少ない印刷システムです。
私たちは、これからも環境に、お客様にやさしい企業を目指します。



JOBU PRINTING CO., LTD.
TELEPHONE 027(352)7445 FACSIMILE 027(352)2953
TAKASAKI E-mail: eigyo@jp-t.co.jp URL: http://www.jp-t.co.jp

上武印刷株式会社 〒370-0015 高崎市島野町890-25



安全と安心のトータルソリューション

KB 関東防災工業株式会社

～消防設備と電気設備の設計・施工・保守、消防用品の販売に加え
雷が落ちない本当の避雷針(PDCE)の販売、防災コンサルティングまで～

◆ 本 社 / 前橋市高井町一丁目29-7
TEL: 027-251-3535 FAX: 027-251-3540

◆ 安中営業所 / 安中市西上磯部1736
TEL: 027-385-5261 FAX: 027-385-5291